



ソーラーパワー型ビーコン(スクエア) 設定アプリマニュアル

rev. 1.0.0

2023年3月10日

本書に含まれる文章と図面の著作権は、株式会社ACCESSが所有します。
本書に含まれる図面の著作権はセイコーウォッチ株式会社が所有します。

© 2023 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

本書の全部または一部を株式会社ACCESSの許諾なく複製し、頒布その他の行為を行うことはできません。

また、本書の内容・構成を株式会社ACCESSの許諾なく改変すること、改変したものを複製し、頒布その他の行為を行うこともできません。

ACCESS、ACCESSロゴは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

その他、文中に記載されている会社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

本製品に明示されている各権利者の知的財産権表示、免責、その他の事項を削除、変更したり、これらの事項に混同を生じさせたりするような表示を新たに付すことはできません。

作成者：

株式会社ACCESS

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地 大東ビル

目次

はじめに	3
アプリ利用方法	3
アプリ機能制限解除パスコードを入力する	3
ソーラーパワー型ビーコン(スクエア)を設定モードにする	4
ビーコンの設定を変更する	5
ビーコンモードがiBeaconの設定画面	5
ビーコンモードがLINE Beaconの設定画面	6
関連文書	9
ソーラーパワー型ビーコン設定アプリケーション使用条件	10

はじめに


本書はソーラーパワー型ビーコン(スクエア) (以下、ソーラービーコン) とソーラーパワー型ビーコン(スクエア)設定アプリ (以下、アプリ) の利用方法について説明した文書です。

アプリ利用方法

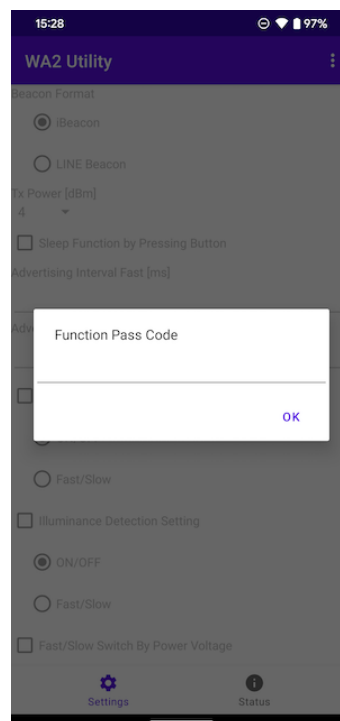
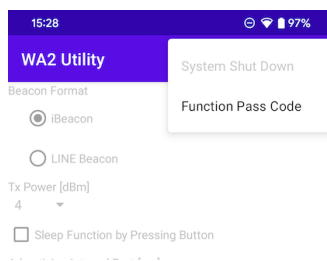
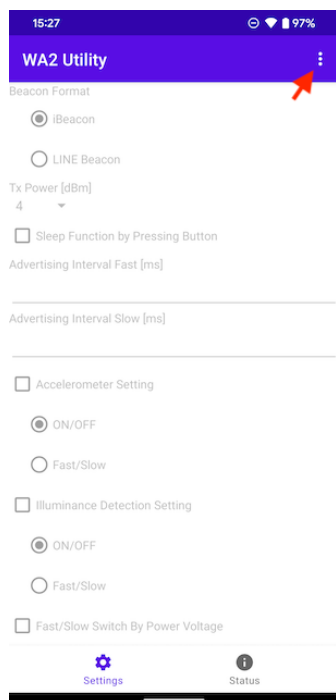
動作環境: Android OS 7 以上

アプリ機能制限解除パスコードを入力する

アプリ起動後、「アプリ機能制限解除パスコード」を入力すると、設定アプリの設定機能の一部が解除されます。

「アプリ機能制限解除パスコード」は画面右上の「」を選択して「Function Pass Code」を選択して「アプリ機能制限解除パスコード」を入力します。

アプリはビーコンと接続状態になると、画面のグレイアウトが解除されるようになっています。ビーコンとの接続方法は「ソーラーパワー型ビーコン(スクエア)を設定モードにする」を参照ください。



ソーラーパワー型ビーコン(スクエア)を設定モードにする

アプリを起動した状態で、スマホとビーコンを近づけてボタンを2秒程度押し続けて、LEDの点灯パターンが緑→緑の順に点灯したら、ボタンから手を離してください。

ビーコンがアプリと接続します。アプリと接続すると、ビーコンのLEDはオレンジで点滅し、設定モードになります。ビーコンと接続すると、グレイアウトしていたアプリ画面は変更ロックが解除され、各パラメータを変更可能な状態になります。

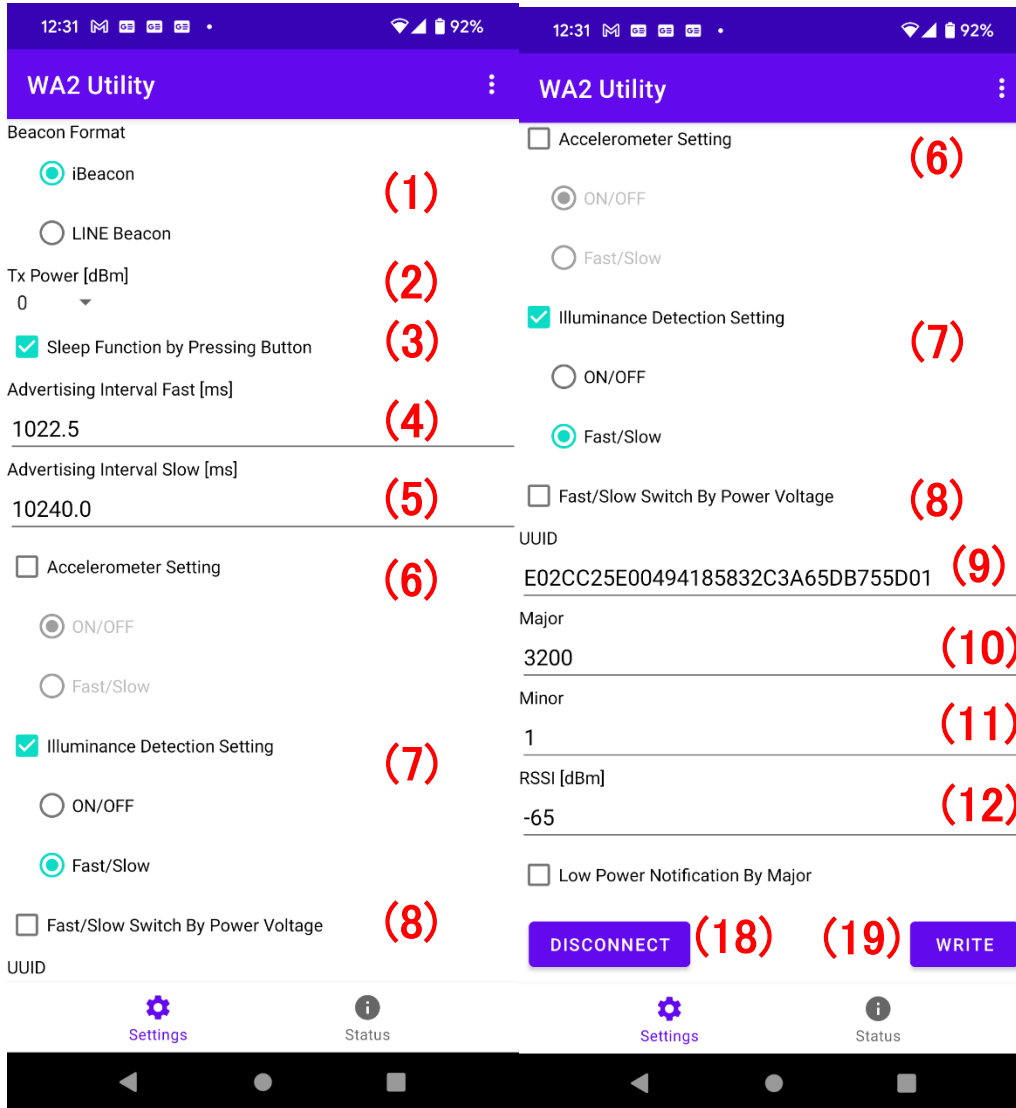
ビーコンを近づけてボタンを2秒程度押し続けたときに、LEDの点灯パターンが緑→赤に点灯した場合、スリープモードになっています。一旦ボタンから手を離し、もう一度ボタンを2秒程度押ししてみてください。

参考動画

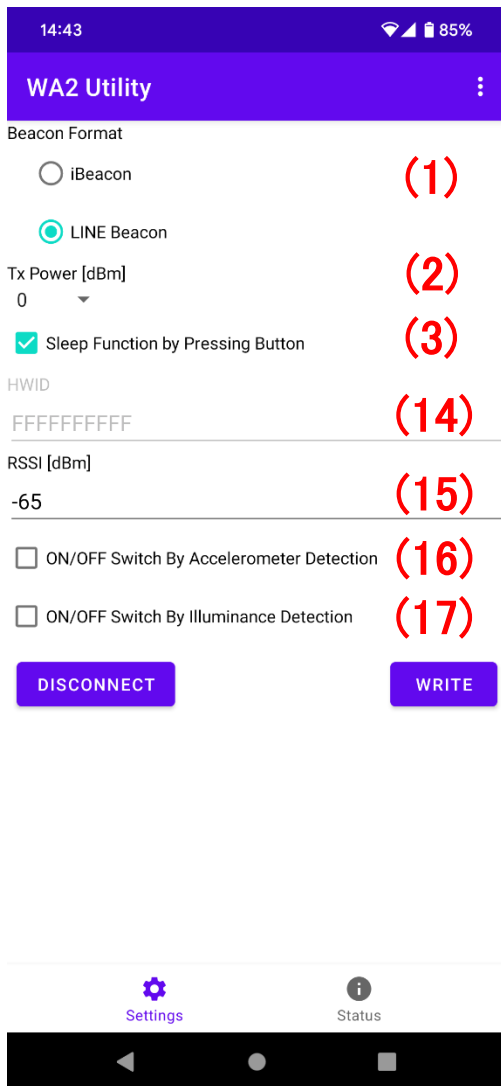
[ビーコンを設定モードへ移行する方法](#)

ビーコンの設定を変更する

ビーコンモードがiBeaconの設定画面



ビーコンモードがLINE Beaconの設定画面



設定画面が変更可能になったら、下表のパラメータを変更できます。変更した値を反映させるには、画面右下の[WRITE] を押して設定値をビーコンに書き込みます。

設定を中止する場合、画面左下の[DISCONNECT]を押すとビーコンとの接続を解除します。

表1. 設定項目と値

番号	設定項目名	初期値	説明	設定可能な範囲
(1)	ビーコンモードの切り替え	(※2)	ビーコンモードをiBeaconかLINEビーコンのどちらかに切り替えます	iBeacon/LINEビーコン
(2)	電波送信出力(dBm)	0	電波送信出力を設定する。	+4, +3, 0, -4, -8, -12, -16, -20, -40
(3)	ボタン長押しでスリープモードになる	ON	ボタン長押しでスリープモードへ移行する機能を有効化するかどうか設定できます。	ON/OFF
(4)	高速アダプタイズインターバル(msec)	1000 または 1022.5	高速モードのときのアダプタイズインターバルを設定します。	100 ~ 10240
(5)	低速アダプタイズインターバル(msec)	10240	低速モードときのアダプタイズインターバルを設定します	100 ~ 10240
(6)	加速度検出時動作	メカニズムの有効化: OFF メカニズムの種類: Fast/Slow	加速度センサーによるモーション検出時のビーコン発信メカニズムの有効・無効と有効なときのメカニズムの種類を選択する。 メカニズムの種類: ON/OFF: ビーコン発信を開始・停止する。 Fast/Slow: ビーコン発信間隔を高速化・低速化する	メカニズムのON / OFF メカニズムの選択
(7)	受光検出時動作	メカニズムの有効化: OFF メカニズムの種類	受光センサーによる受光検出時のビーコン発信メカニズムの	メカニズムのON / OFF メカニズムの選

		類: Fast/Slow	有効・無効と有効なときのメカニズムの種類を選択する。 メカニズムの種類: ON/OFF: ビーコン発信を開始・停止する。 Fast/Slow: ビーコン発信間隔を高速化・低速化する。	択
(8)	電源低電圧検出時動作	Off	電源低電圧検出時にアダプタイズインターバルの高速化・低速化の切り替え	ON / OFF
(9)	iBeacon UUID	E02CC25E00494185832C3A65DB755D01	iBeaconのProximity UUID(※1)	0~9, A~Eの文字で32文字。 uuidgen に準拠して生成されたUUIDである必要があります。
(10)	iBeacon Major	3200	iBeaconのMajor値(※1)	1 ~ 32767の整数
(11)	iBeacon Minor	個体ごとに異なる	iBeaconのMinor値(※1)	1 ~ 65535の整数
(12)	Measured Tx Power	-75	iBeaconのMeasured Tx Power(※1)の値。 電波送信出力によって自動で変更します。	-127 ~ 127
(13)	ローバッテリー通知On/Off	off	低電圧動作時にMajor値の最上位bitのフラグを立てる	ON / OFF
(14)	HW ID	(※2)	LINE Beaconで指定するHW ID	
(15)	RSSI	(※2)	LINE Beaconで指定するRSSI	

(16)	加速度検出時設定	OFF	加速度検出時の動作のON/OFFを切り替えます。	ON / OFF
(17)	照度検出時動作	OFF	照度検出時の動作のON/OFFを切り替えます。	ON / OFF
(18)	Bluetooth接続の切断		Bluetooth接続を切断します。設定値の書き込み前の場合、変更した設定値は反映しません。	
(19)	設定値の書き込み		変更した設定値を書き込みます。書き込み後、自動でBluetooth接続を切断します。	

※1 関連文書No. 1 参照

※2 出荷時に個々に設定された値となります。LINE Beacon仕様の詳細は関連資料3を参照ください。

関連文書

文書番号	関連文書
1	Apple Inc. Proximity Beacon Specification
2	ソーラーパワー型ビーコン設定アプリパスコード利用マニュアル
3	LINE Beacon端末の仕様

ソーラーパワー型ビーコン設定アプリケーション使用条件

- 本アプリケーションは、当社からご購入いただいたソーラーパワー型ビーコンの利用期間中のみ使用できるものです。ソーラーパワー型ビーコンの利用を終了した場合、本アプリケーションは削除するようお願いいたします。
- 本アプリケーションに関して許諾される行為は以下に限定されます。
 - ①本アプリケーションを自己の保有する端末にインストールすること
 - ②インストールした本アプリケーションを、インストールした端末においてのみ使用すること
- 本使用条件で許諾される行為以外の行為を行うことはできません。特に、以下の行為は明確に禁止されます。
 - ①本アプリケーションを販売、再使用許諾、貸与、賃貸あるいは譲渡すること
 - ②使用条件で許諾される範囲を超えて本アプリケーションを複製すること
 - ③本アプリケーションを改変、翻案もしくは補正し、またはリバースエンジニアリング等の解析をすること
 - ④本アプリケーションの派生物を作成すること
 - ⑤権利表示を不明確化、削除等すること
- 本アプリケーションは一切の保証なしに、現状のままの状態でのみ提供されます。本アプリケーションの使用は、自己のリスク負担のもと、自己の責任と判断で行われるものとします。
- 当社およびそのライセンサーは、本アプリケーションに関連して生じうる損害について一切責任を負いません。
- 本使用条件の準拠法は日本法とし、何らかの紛争が生じた場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。